令和８年度全国学力・学習状況調査の宇部市の結果について

１　調査概要

(1) 調査の目的

○義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
○学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
○そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(2) 調査期日　令和８年４月２３日（木）

※英語「読むこと」「書くこと」「聞くこと」
：令和８年４月２０日（月）～２３日（木）のうち１日
※英語「話すこと」：令和８年４月２４日（金）～５月２９日（金）のうち１日

(3) 学校数及び対象学年（人数）

①市立小学校：２４校　　対象学年：第６学年（１，１６４名）
②市立中学校：１２校　　対象学年：第３学年（１，１０３名）

(4) 調査内容

①教科に関する調査
小学校（国語、算数）
中学校（国語、数学、英語）
②生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
ア　児童生徒に対する調査　【小学校：７３項目　中学校：８０項目】
イ　学校に対する調査　　【小学校：８５項目　中学校：９３項目】

２　調査結果

(1) 教科に関する結果

①全体の結果

・小学校では、国語はわずかに下回った。算数は、全国平均と同程度であった。
・中学校では、国語、数学及び英語はいずれも、全国平均をわずかに下回った。

小学校　平均正答率		国語	算数
R8	宇部市	60	57
	全国	60.9	56.4
	山口県	62	57

中学校　平均正答率		国語	数学	英語4技能 （IRT スコア）
R8	宇部市	63	56	491
	全国	63.9	57.0	499
	山口県	64	57	495～504

※平成２９年度から、都道府県等における各区分の平均正答率は整数値で提供
※IRT スコアとは IRT（Item Response Theory：項目反応理論）に基づき、各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、５００を基準にした得点

②教科ごとの結果

【小学校国語】

・「言葉の特徴や使い方に関する事項」については、全国平均を上回っているが、「情報の扱い方に関する事項」については、下回った。
　また、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」の領域において全国平均と同程度だが、「読むこと」の領域において、全国平均を大きく下回った。

【小学校算数】

・「図形」の領域において、全国平均を上回ったが、「測定」の領域では下回った。
「数と計算」、「変化と関係」、「データの活用」の領域においては全国平均と同程度だった。

【中学校国語】

・「言葉の特徴や使い方に関する事項」、「情報の扱い方に関する事項」及び「話すこと・聞くこと」「書くこと」の領域において全国平均と同程度だが、「読むこと」の領域において、全国平均を下回った。

【中学校数学】

・「数と式」、「データの活用」の領域では全国平均と同程度だったが、「図形」「関数」の領域において、全国平均を下回った。

【中学校英語】

公開問題、非公開問題での実施のため、領域別の正答率のデータはなし。

(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査について

望ましい状況【全国より高い】	課題の見られる状況【全国より低い】
【小中ともに】 ○困り事や不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。 ○昼休みや放課後に、本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室によく行く。 ○自分の家には、およそどれくらいの本がありますか（雑誌、新聞、教科書は除く）。 【小学校】 ○自分と違う意見について考えるのは楽しい。 ○友達関係に満足している。 【中学校】 ○学級では、人と違う意見を言っても否定されない。 ○分からないことや詳しく知りたいことがあったときに自分で学び方を考え、工夫することができている。 ○先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれる。 ○国語の授業では、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くための考えをまとめている。 ○数学の授業では、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っている。 ○英語の内容はよく分かる。 ○聞いたり、読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする活動をよく行っている。 ○キーボードを使って英語を書く活動をよく行っている。	【小中ともに】 ●自分にはよいところがある。 ●学校の授業時間以外の、普段（月～金）、１日当たりの勉強時間 ●普段（月～金）1 日当たりのスマートフォンや携帯電話、パソコン、タブレット、ゲーム機、テレビ等で SNS や動画視聴などをする時間（スマートフォン等を使って学習する時間やゲームをする時間を除く） ●学校の授業時間以外での、普段、1 日当たりの ICT 機器を勉強のために使う時間 ●授業での PC･タブレットなどの ICT 機器の使用頻度 ●ICT 機器を活用してプレゼンテーションを作成することができる。 ●授業において、学んだことを活かしながら考えをまとめる活動や工夫して発表すること等 ●総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる。 ●将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業についたりしたい。 【小学校】 ●将来の夢や目標を持っている。 ●学校が休みの日の、１日当たりの勉強時間 ●国語の勉強は好きか。 ●英語の勉強は得意か。 ●国語、算数で学習したことは、将来、社会に出たとき役立つと思うか。 【中学校】 ●学校の勉強のことについて、親や家族とどれくらい話すか。 ●数学の勉強は得意か。 ●数学の勉強は好きか。